

令和元年度事業報告書
2019年7月1日から2020年6月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

1 事業の成果

同じ地域に住む大人と子どもの関係性が希薄になっており、「子どもと大人の出会いの場づくり」「子どもが頼れる大人に出会える地域づくり」の必要性を深く感じた1年となった。

子どもたちの居場所づくりを進めていく中で、新たな支援センターの開設や地域の交流拠点をオープンすることができた。

- ・こども家庭支援センターつるみらいの認可および開設
- ・鶴見の多世代多文化の交流拠点「230cafe」のオープン

コロナ禍という緊急事態の中で、オンラインでの講演会、学習支援、ひとり親世帯への食料品支援など、つながりや支援が切れることなく継続することができた。これらの取り組みは、今後の事業の進め方で大いに発展できる手ごたえとなった。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子どもの発達における総合支援事業

ア 子どもたちの居場所づくり実践

子どもたちの居場所づくりの取り組みを実施。

- ・公共施設での子どもたちの居場所づくり：地区センカフェ
「行けば誰かいる」という子どもたちにとっての待ち合わせ場所であり、頼れる大人に出会える場づくりの実施。

日 時：毎週火曜日 15:00～17:00 オープンスペース
18:00～19:00 学習支援

場 所：横浜市寺尾地区センター

開催回数：オープンスペース 33回 3月3日～5月26日の間(12回)は中止
学習支援 9回

参加者数：オープンスペース 延べ893人(内こども821人・大人72人)
学習支援 延べ46人・学習支援ボランティア 延べ45人
学習支援コーディネーター 1名配置

※事業の一部を鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金を受け実施

- ・公立中学校内での放課後学習支援

依頼を受けた中学校の校舎内(図書室等)での放課後学習会の実施。生徒一人ひとりに寄り添った個別対応により、学習の困り事のみならず生活面での相談にも対応。参加した中学3年生は、全員希望の高校に進学することができた。

日 時：木曜日 16:00～17:30

場 所：横浜市立寺尾中学校

開催回数：20回

参加者数：生徒 延べ81人・学習支援ボランティア 延べ77人
学習支援コーディネーター 1名配置



- ・オンライン学習支援（緊急実施）

コロナ禍により、公共施設の閉鎖、対面での学習支援ができなくなってしまったことから、学校が休校中の間に緊急的に実施。LINE グループ通話やグループチャットを活用。

日 時：火曜日 15：00～16：30 3月17日～5月26日

方 法：LINE等を活用したオンライン

開催回数：11回

参加者数：生徒 延べ28人・学習支援ボランティア 1人

学習支援スタッフ 2名配置

- ・常設型の子どもたちの居場所（オープンスペース）

新型コロナウイルス感染拡大により、実施方法を再検討。

- ・子どもの居場所づくり活動支援

外国ルーツの子どもたちを支援している団体の支援

活動基盤の強化と新規事業の企画支援

- ・高校生のための居場所「プレイスカフェ（仮）」

NPO法人ABCジャパン主催事業の連携実施

高校生5名にヒアリング

感染対策に対応した実施の検討

7月16日から取り組み開始

イ 講演・啓発事業

- ・子どもの貧困対策講演会「子どもたちが孤立しない社会の実現のために」

特定非営利活動法人サンカクシャの荒井代表をお招きし、講演会を実施。子どもや若者が自分らしく生きていくために必要なことって何だろう？先駆的に実践されている事例を通じて、鶴見区内でも取り組めることや、個人として関われることを当事者の若者たちからの話も交え学んだ。

日 時：令和2年1月19日（日）10：00～14：00

場 所：横浜市鶴見中央地域ケアプラザ

参加者数：50名

※第3回子供の未来応援基金の支援金を受け実施

※パルシステム神奈川ゆめコープの協力により、ランチ会（カレー）を同時開催し、食事をしながら振り返りを実施。

- ・ひきこもりと不登校 - 休校が続く今、聞きたいこと

過去に不登校、引きこもり経験のあるお笑い芸人キラコンテンツから、当事者としてどういったことを思っていたのか、相手としてどうサポートをしてきたのかを話していただいた。

感染対策のためフェイスブックライブを使ったオンライン講演会。

日 時：令和2年5月23日（土）19：00～20：30

再生回数：720回（令和2年6月30日現在）

※後援：パルシステム神奈川ゆめコープ

・社会貢献教育の推進

日本ファンドレイジング協会が中心に推進している社会貢献教育「寄付の教室[◎]」「社会に貢献するワークショップ[◎]」の実施および協力

予定していた企画が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

・講演会、研修会等への登壇

テーマ

子どもたちの居場所づくり、コミュニケーションなど

講演・協力先

法政大学大学院、社会福祉法人相模原市社会福祉協議会、市議員事務所、パルシステム神奈川ゆめコープ、横浜市子どもの居場所づくり支援アドバイザー派遣派遣事業 他

ウ 子どもの体感・体験・学習イベント

・つるみ子育て個育ちフォーラムへの参加

子どもたちが健やかに、心豊かに育つ地域づくりを進めていくことを目的に、鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体や区民有志が一堂に会すイベント「つるみ子育て個育ちフォーラム」の運営委員、企画委員として協力。

エ 委託事業、認可事業の運営申請準備

・令和2年度 横浜型児童家庭支援センター設置運営法人の公募に参加

鶴見区の運営法人として選定され、令和2年4月1日に「こども家庭支援センターつるみらい」を開設

② 地域資源の調査・研究・開発事業

ア 鶴見区子ども資源調査・研究・開発

・つるみ子どもの未来応援ネットワーク

横浜市鶴見区社会福祉協議会と共同で「つるみ子どもの未来応援ネットワーク」の事務局を担う。

鶴見区子どもたちの居場所マップ（5,000部）を作成し、鶴見区内の地区センターやケアプラザに配架。

イ 鶴見の多文化・多世代の共創拠点づくり

ヨコハマ市民まち普請事業に採択された「つみれプロジェクト実行委員会」の拠点づくりを協働で推進。令和2年3月1日より、事業主体の移管を受け特定非営利活動法人サードプレイスが事業主体となる。

令和2年4月1日に鶴見の多文化・多世代の共創拠点「230cafe」をオープン。拠点運営やランチ営業などを「つみれプロジェクト実行委員会」の協力により実施。

パルシステム神奈川ゆめコープと『230cafe』の施設使用と運営協力に関する契約書を締結し、事業協力者としてパルシステム神奈川ゆめコープと230cafeの運営を共同でおこなう。

4月8日～6月1日：新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により営業を自粛。

6月2日より拠点事業、ランチ営業を再開

延べ利用者数 187人（ランチ客・貸スペース利用者）

ウ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

地域のご高齢者の外出の機会、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業サービスB通所型）を企画。横浜市から補助決定。

4月1日～6月30日：新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により横浜市の指導の下、活動を自粛。6月中に会場となる230cafeの感染対策を関係機関で確認。

エ 鶴見区にお住いのひとり親世帯向け食料品提供

コロナ禍により生活に影響を受けているひとり親世帯に対し、寄付で得られる食料品や購入して集めた食料品の提供を実施。

5月23日（土）、24日（日）11世帯

6月20日（土）・21日（日）11世帯

配達の際に、食料品以外の困り事の聞き取り、アセスメント。

継続相談が必要な家庭は、児童家庭支援センターの案内を同封